

運営推進会議開催報告書

下記事業所について、次のとおり運営推進会議を開催したことを報告します。

1. 基本情報

事業所名	都筑区医師会ナーシングホーム		
サービス種別	看護小規模多機能型居宅介護		
所在地	横浜市都筑区牛久保西1-20-21		
担当者	石濱 千秋	連絡先	045-913-6321
運営法人	一般社団法人 横浜市都筑区医師会		

2. 開催日時・場所

日時	令和 8年 1月 9日13時30分 ~14時	場所	医師会館理事長室(オンラインと併用)
----	------------------------	----	--------------------

3. 出席者

氏名	分野	備考(所属・従事経験など)
宮本 毅 (欠)	地域住民の代表者	中川連合町内会 会長
伊勢田 義紀	当該サービスに知見を有する者	中川地域ケアプラザ 所長
堀元 隆司 (zoom)	当該サービスに知見を有する者	堀元歯科医院 院長
小林 雅子 (欠)	当該サービスに知見を有する者	小林クリニック 副院長
片山 徹 (欠)	当該サービスに知見を有する者	TOWN訪問診療所横浜 院長
菅井 直樹	市の職員又は地域包括支援センターの職員	都筑区役所 高齢者支援課係長
深澤 立 (欠)	当該サービスに知見を有する者	都筑区医師会代表理事
宮島 佳代	事業所職員	統括管理者
石濱 千秋	事業所職員	管理者
佐藤 恵理	事業所職員	看護師
箕輪 善果	事業所職員	看護師
青柳 かおる	事業所職員	介護職員
羽後 みゆき	事業所職員	介護職員
後藤 瑞佳	事業所職員	事務
加藤 萌子	事業所職員	事務

4. 活動状況報告

別紙(様式2~4)のとおり

(裏面あり)

5. 活動状況に関する評価・意見・要望

1. 令和7年度11月、12月実績報告
2. 令和7年度11月、12月〔身体拘束・虐待防止検討委員会〕報告
3. 令和7年度11月、12月〔感染症委員会〕報告
4. インシデント・アクシデント・苦情報告
5. 令和7年度11月、12月活動報告
6. 事業者評価について
7. 意見交換

6. 評価・意見・要望に対する考え・取組

3. 感染症について
ナーシングでの取り組みについて質問あり
【取り組み】
日常的なマスク着用と手洗いの徹底。
BCP(事業継続計画)に基づき、標準的な研修とシミュレーションを毎年定期的を実施。
個別対応: 利用者の家族が感染した際は「居室対応」、職員の家族が感染した際は「ダブルマスクでの勤務」など、状況に応じた具体的なルールを運用
4. アクシデント報告について
※事故に対する家族の反応は?の質問: 家族からは「わざとではない」と一定の理解を得られ、病院にも同行いただくなど、対応。
※初期段階での分析について: すぐに、再発防止策をスタッフ内で検討。多人数での対応は「責任の分散」や「誰かがやるだろう」という意識の低下を招きやすいため、慣れや「あうんの呼吸」に頼らない体制が必要である。
※再発防止策について: ストレッチャー側に人がたち、ストッパー確認して実施。マニュアル再作成する。
6. 事業所評価について説明
* おおむねできているが、地域交流・参画が十分にできていない。地域住民に対し、どのような情報提供を行っていくか、引き続き改善策の検討をしていく予定。

7. 地域からの情報提供

堀元歯科医院より: 歯科衛生士の交代

8. その他特記事項

※ 会議は原則事業所内で行ってください。
やむを得ず他の場所で開催する場合、必要に応じて事業所内の見学を行ってください。

活動状況報告書(看護小規模多機能型居宅介護)

1. 基本情報

事業所名	都筑区医師会ナーシングホーム		
所在地	横浜市都筑区牛久保西1-20-21		
担当者	石濱 千秋	連絡先	045-913-6321
運営法人	一般社団法人 横浜市都筑区医師会		

2. 登録者の状況 令和 7年 12月

登録者数(12月 31日現在)	女性 12名	男性 4名	計 16名					
要介護度	要支援1 0名	要支援2 0名	要介護1 0名	要介護2 4名	要介護3 2名	要介護4 3名	要介護5 7名	申請・区変中 0名

3. サービス提供回数(会議開催の前月分)

登録者(匿名)	通い	泊まり	訪問	備考(入所日、退所日など)
ア	8	0	15	2 (訪問看護)
イ	26	3	0	1
ウ	17	0	31	1
エ	13	0	1	29
オ	11	7	5	0
カ	8	0	36	6
キ	10	6	11	27
ク	24	19	1	24
ケ	10	5	8	2
コ	24	20	7	1
サ	0	0	9	7
シ	10	2	16	8
ス	13	4	17	7
セ	8	1	11	14
ソ	11	2	31	0
タ	12	4	27	0
チ				
ツ				
テ				
ト				
ナ				
ニ				
ヌ				
ネ				
ノ				
ハ				
ヒ				
フ				
ヘ				
平均	12.81	4.56	14.13	平均要介護度 3.81

(裏面あり)

4. 運営方針

事業所の目標	1. 看護・介護の連携強化及び同法人内事業所と一体的に協力し、利用者を確保し経営の安定を図る 2. 安心して安全な質の高いケアの提供を行うために、職員教育を充実させる 3. 地域住民との連携/街づくりへの参画
目標に向けた具体的取組	1-1) 登録者276件/年(23名/月)を目指す 1-2) 様々な加算要件の維持(ターミナルケア、訪問体制等) 1-3) 介護・看護との定期的なカンファレンス、同法人内事業所との一体的会議の継続 2-1) 事業所内研修の実施、外部研修への参加 2-2) 職員の制度の理解を深め、運営方針の共有化 3-1) 地域住民や他事業所と共同で研修会の企画・実施 3-2) 日常的にかかわりのある地域住民等の相談に対応する体制を確保(総合マネジメント体制強化加算要件)

5. 活動報告

【11, 12月活動報告】 * 運営推進会議(11/14) * 管理者会議(11/10, 12/8) * 研修「ディズニー流ポジティブコミュニケーション」(11/8) * 研修「ケアマネジャーを通して考える都筑区の医療と介護」出席(11/19) * 運営会議・身体拘束適正化委員会・虐待防止検討委員会・感染対策委員会・喀痰吸引会議(11/27, 12/18) * 消防避難訓練(12/12) * クリスマス会(12/26) * 事業所合同カンファレンス(毎週水曜日) * 介護職カンファレンス(毎週水曜日) * 看護職カンファレンス(毎週金曜日)
--

6. 事故・ヒヤリハット報告

内容	入浴のため、ベッドから入浴用ストレッチャーに3人で移乗する際、ストレッチャーのストッパーがかかっておらず、ストレッチャーが動いてしまい、頭側と足側のスタッフ二人でバスタオルで支えながら床に転落。腰が先につき頭をついた際に痙性が入り頭部を2回床に打ってしまう。
改善策	* ブレーキ確認の声掛け * ストレッチャーが動かないように、ストレッチャー側に介助者がたち介助する

内容	
改善策	

7. 地域への情報提供

特になし

8. その他特記事項

特になし
